

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	生後4か月までの乳児家庭全戸訪問事業の充実						掲載ページ	
							64	
コスト	事業費	平成26年度執行額	平成27年度予算額	政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局	
		45,518 「のびのび赤ちゃん訪問事業」の総額 本事業はその一部	千円	45,723 「のびのび赤ちゃん訪問事業」の総額 本事業はその一部	千円	施策名	母子保健	担当課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	生後4か月までの乳児がいる家庭を訪問し、子育ての孤立化を防ぐために、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する必要な情報提供を行うとともに、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供に結びつけることにより、地域のなかで子どもが健やかに育成できる環境整備を図ります。		活動実績	活動結果は下記のとおりです	
活動計画	訪問を継続実施し、訪問担当者に対する研修会を行うなど、事業の充実を図ります。訪問等でその居宅において面接して情報を提供します。また、訪問により、養育支援の必要な家庭を把握し、支援に繋がります。					
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	生後4か月までの乳児家庭訪問の割合					
	全戸訪問により母体の健康保持および胎児の健やかな発育を促すためには、専門職の訪問が必要なため、活動指標としました。 （最終目標と最終年度） 100% （平成26年度）	88.9 %	100 %	86.7 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	専門職による訪問数					
全戸訪問により母体の健康保持および胎児の健やかな発育を促すためには、専門職の訪問が必要なため、活動指標としました。 （最終目標と最終年度）	6,403 件	適切な訪問	6,916 件	順調	順調	
			108.0 %	やや遅れ 遅れ		

【Check】評価（分析）		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。
	【経済性】 【効率性】の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。
		子どもの出生数は減少していますが、子育て支援を必要とする家庭への保健師、助産師等の専門職による訪問数は増えています。また、地域支援者（主任児童委員等）による地域に住む人ならではの情報提供や関わりも定着してきており、専門職と地域支援者それぞれの強みを活かした活動が展開されていることから順調と評価しました。
		主任児童委員等の協力のもと、現在のコストで事業を維持できています。出生数は減っても、専門職の訪問対象である養育支援の必要な家庭は増えてきており、これ以上のコスト削減は困難です。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
面接できなかった家庭に対しても、その後の乳児健診において支援を行います。子育ての孤立化を防ぎ、地域での見守り体制を充実していくために、今後も事業を継続します。 今後も関係機関と連携し、より効果的な事業の推進を図ります。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	産後うつ対策の充実						掲載ページ
							64
コスト	事業費	平成26年度執行額	平成27年度予算額	政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		45,518 「のびのび赤ちゃん訪問事業」の総額 本事業はその一部	千円	45,723 「のびのび赤ちゃん訪問事業」の総額 本事業はその一部	千円	施策名 母子保健	担当課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのよう な状態に した いのか	産後のうつ状態等を早期に把握し、きめ細かに支援するため、全産婦に産後うつを早期に発見するための質問票を用いるとともに、医療機関と行政が連携し、産後うつに対して早期に対応する体制を整備します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです	
活動計画	訪問を継続実施し、訪問担当者に対する研修会を行うなど、事業の充実を図ります。訪問等で直接面接して情報を提供します。					
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績 （達成率）	→ 【活動の状況】
	専門職による産後うつ質問票の実施件数		6,231 件	増加	6,102 件	大変順調
	産後うつ質問票を活用することで、産後うつの早期発見につながる と考え、活動指標としました。					
	質問票の実施により継続支援した件数		883 件	適切な 継続	961 件	順調 やや遅れ 遅れ
産後うつを早期に発見し対応することで、育児負担の軽減につなが ると考え、活動指標としました。						

【Check】評価（分析）		
分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。  生後4か月までの乳児家庭全戸訪問事業と合わせて実施しており、訪問した産婦にエジンバラ産後うつ病質問票等を実施しています。出生数が減少していることもあり実施件数は減少していますが、その結果支援が必要と判断された産婦は保健師等が継続的に支援できているため順調と判断しました。子育ての孤立化を防ぎ、地域での見守り体制を充実していくために、今後も事業を継続します。
	「経済性」 「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  産婦の状況に応じて地域の主任児童委員や専門職が実施しているため、これ以上のコスト削減は困難です。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
面接できなかった家庭に対しても、その後の乳児健診結果等をふまえて支援を行います。子育ての孤立化を防ぎ、地域での見守り体制を充実していくために、今後も事業を継続します。関係機関と検討した結果を踏まえ、連携体制を整備するとともに事業の周知を図り、より効果的に事業を推進します。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	(仮称)養育支援が必要な家庭への訪問指導員派遣事業						掲載ページ	
							64	
コスト	事業費	平成26年度執行額	平成27年度予算額	政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局	
		45,518 「のびのび赤ちゃん訪問事業」の総額 本事業はその一部	千円	45,723 「のびのび赤ちゃん訪問事業」の総額 本事業はその一部	千円	施策名	母子保健	担当課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	養育に問題を抱えている家庭に対し、訪問指導員がその居宅を訪問し、家事・育児に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の養育能力の向上を図ります。			活動実績	養育の問題を抱えている家庭で継続して支援が必要な場合は、育児支援訪問として家事・育児に関する指導や援助を行いました。
活動計画	乳児家庭全戸訪問事業から、養育支援の必要な家庭に対して、訪問指導員がその居宅を訪問し、家事・育児に関する指導・助言等を行います。					
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	→	【活動の状況】
	養育支援体制の検討	—	単年度の目標設定はありません	—	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	他都市の状況を参考にしながら、養育支援の体制を検討します。 (最終目標と最終年度)					
	訪問指導員が訪問した件数	279 件	単年度の目標設定はありません	332 件	順調 やや遅れ 遅れ	順調
養育に問題を抱えている家庭は、母親の体調や育児状況の経過をみながら継続訪問支援していくことが必要であるため、活動指標としました。 (最終目標と最終年度)						

【Check】評価(分析)		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。  養育に問題を抱える家庭に対して継続した支援を行うことは育児不安の軽減を図り、児童虐待予防につながることから重要です。乳児家庭全戸訪問事業から、養育支援の必要な家庭に対して、訪問指導員がその居宅を訪問し、指導・助言につなげたことから、順調としました。
	【経済性】 【効率性】の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  効果的に実施できるよう、関係機関と連携する必要があります。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
引き続き、養育支援の必要な家庭への支援について、効果的に実施できるよう、医療機関等、関係機関との連携を強化していきます。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	育児支援家庭訪問事業						掲載ページ	
							64	
コスト	事業費	平成26年度執行額	平成27年度予算額	政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局	
		45,518 「のびのび赤ちゃん訪問事業」の総額 本事業はその一部	千円	45,723 「のびのび赤ちゃん訪問事業」の総額 本事業はその一部	千円	施策名	母子保健	担当課

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	個々の家庭の抱える養育上の問題の解決や負担の軽減を図るため、出産後間もない時期や様々な原因で養育が困難になっている家庭に対して、保健師等が訪問し、子育てに関する情報提供や専門的な支援を行います。	活動実績	活動結果は下記のとおりです		
活動計画	<p>子育ての孤立化を防ぎ、地域での見守り体制を充実するために、専門職と地域が連携をとりながら事業を確実に実施します。</p> <p>できるだけ早期から必要に応じた支援を行うため、妊娠・出産・育児期において産科や小児科等と連携して母子を支援する体制を整える「ハローベビーサポート北九州（北九州市妊娠期からの養育支援事業）」を推進するとともに、事業の周知を図ります。</p>					
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	<p>家庭訪問件数</p> <p>養育に問題を抱える家族に対して訪問することは、育児不安の軽減につながると考え、活動指標としました。</p> <p>（最終目標と最終年度）</p>	2,424 件	確実な訪問	2,322 件	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	（最終目標と最終年度）				順調	順調
					やや遅れ	
					遅れ	

## 【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	若年や多胎児、産後うつなど、養育が困難な妊産婦に対して、専門職が継続支援を行っています。養育が困難な家庭に対して専門的支援を行うためには、保健師等の専門職の訪問による継続的な支援が必要です。養育支援を必要とする家庭を把握するシステムを構築し、専門職を確保するなど、確実な訪問と継続支援を実施できたことなどから、順調と判断しました。
	【経済性】 【効率性】の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	養育支援の必要な家庭は、育児の負担が大きいため虐待のリスクも高まります。児童福祉法に基づく事業であり、実施する必要があります。

## 【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること

子育ての孤立化を防ぎ、地域での見守り体制を充実するために、事業の継続が必要です。今後も関係機関と連携し、専門職を対象にした研修を実施するなど個々の母子保健に関する知識の向上やスキルアップを図ることで、より効果的に事業を進めていきます。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	妊産婦・乳幼児なんでも相談等の実施						掲載ページ	
							65	
コスト	事業費	平成26年度執行額	平成27年度予算額	政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局	
		23,460 「すくすく子育て支援事業」の総額 本事業はその一部	千円	26,623 「すくすく子育て支援事業」の総額 本事業はその一部	千円	施策名	母子保健	担当課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	育児不安の軽減を図るため、市民センター等、地域の身近な場所で、保健師による相談を定期的に実施し、出産や育児、子どもの成長発達についての個別相談や保健指導を行います。 また、子育てに関する知識の普及と啓発のために講話等を開催します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです	
活動計画	身近な場所で子育てや母子の健康について相談できるよう、市民センターや子育てサークルと連携しながら実施していきます。					
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	なんでも相談開催箇所数	135 箇所	全小学校区	135 箇所	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	身近な場所で実施することが、育児不安の軽減につながるため、活動指標としました。 （最終目標と最終年度） 全小学校区（現状維持）（平成26年度）					
					順調	順調
（最終目標と最終年度）				やや遅れ 遅れ		

【Check】評価（分析）		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。  概ね全小学校区で開催しており、身近な相談場所として定着していることから順調と判断しました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  子育ての孤立化を防ぎ親の育児不安を軽減するために、地域において相談できる機会の提供は大切です。また、区役所窓口や個別訪問と比べ、短時間で複数の個別事例の相談支援ができ効率的です。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
身近な相談場所として定着してきており、子育ての孤立化の予防に繋がっていることから、今後も事業を継続します。あらゆる機会を通じて事業の周知を図り、利用を促進していきます。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	乳幼児健康診査未受診者フォローアップ事業						掲載ページ	
							65	
コスト	事業費	平成26年度執行額	平成27年度予算額	政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局	
		23,460 「すくすく子育て支援事業」の総額 本事業はその一部	千円	26,623 「すくすく子育て支援事業」の総額 本事業はその一部	千円	施策名	母子保健	担当課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	虐待につながりやすい状況を早期に把握し予防するため、乳幼児健康診査未受診者に対して、家庭訪問を実施し、受診勧奨するとともに、養育に関する相談に応じます。また、妊婦や乳幼児の健康診査をデータ管理し、受診結果に応じて保健指導を行いません。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	事業を継続して実施します。					
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	家庭訪問件数	401 件	適切な訪問	347 件	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	4か月・1歳6か月児健康診査未受診者に対して家庭訪問し、状況を確認することが、乳幼児の健康保持や虐待の予防・早期発見につながると考え、活動指標としました。 （最終目標と最終年度）					順調
					やや遅れ	
				遅れ		

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	予定どおり、4か月児と1歳6か月児健康診査の未受診者に対して、受診勧奨はがきを送付するとともに、訪問等により子どもの成長発達や育児不安等の相談に応じることができました。健診受診を勧奨することで、乳幼児の健康保持や虐待を早期に発見する役割を果たせたため、順調と判断しました。乳幼児健診の未受診者は、様々な問題を抱えていることがあるため、今後も受診勧奨し、支援することは必要です。
	【経済性】 【効率性】の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	関係機関と連携することで情報を把握しながら効率的に実施しています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
乳幼児健康診査の未受診者に対して、受診勧奨し家庭訪問等の支援を継続します。また、健診情報のデータ管理を確実にし、未受診者の確実な把握を行いません。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	地域でつくる子育て応援事業						掲載ページ		
							65		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		345	千円	596	千円	施策名	母子保健	担当課	子育て支援課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	区の推進協議会やまちづくり協議会等と連携し、子育てに関するボランティア活動や地域特性を活かした子育て支援活動等を支援します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	区の特性に応じた子育て支援活動を実施します。					
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	区や校区単位で開催される子育て支援のための活動件数	130 回	適切な実施	160 回	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	地域の特性に応じた子育て支援活動を実施するため必要であると考え、活動指標としました。 （最終目標と最終年度）					
					順調	順調
（最終目標と最終年度）				やや遅れ 遅れ		

【Check】評価（分析）			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	各区の状況に応じて、子育て支援に関する会議や勉強会等を実施しており、順調と判断しました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	区や地域の特性を活かした活動が展開されています。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
地域における子育て支援活動や支援者が多方面に広がっていることから、今後も関係機関と連携し、子育て支援の活動を検討していきます。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	母子栄養食品支給事業						掲載ページ
							65
コスト	事業費	平成26年度執行額	平成27年度予算額	政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		23,460 「すくすく子育て支援事業」の総額 本事業はその一部	千円	26,623 「すくすく子育て支援事業」の総額 本事業はその一部	千円	施策名	母子保健
							子育て支援課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	母体の健康保持および乳児の健全な育成を図るため、栄養の確保が困難な低所得世帯の妊産婦および乳児に対し、栄養食品（粉乳）を支給します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	支給申請を希望する対象者に適切な栄養食品を支給しつつ、他都市の状況を把握の上、今後の事業のあり方について検討します。					
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
	受給者数	348 件	適切な給付	229 件	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	栄養確保が困難な妊婦及び乳児に対して粉乳を支給することは、経済的負担の軽減や健全な育成につながることから、活動指標としました。 （最終目標と最終年度）					
					順調	順調
				やや遅れ		
					遅れ	

【Check】評価（分析）		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。  受給者数は減少していますが、経済的理由で栄養をとれないことがないよう、必要な家庭に対し支給できていることから、順調と判断しました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  低所得者を対象にミルクを支給しているため、これ以上のコスト削減は難しいと考えます。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
拒食症や過度の偏食など個人の病状を除けば、栄養に事欠く状況は起こりにくいため、他都市の実施状況等を鑑み、平成26年度以降の母子健康手帳交付者についての新規の受付は終了しました。なお、継続受給者への支給は継続して実施します。



# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	母子保健調査研究事業						掲載ページ		
							65		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		1,000	千円	932	千円	施策名	母子保健	担当課	子育て支援課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	多様化する母子保健に対するニーズに対応するため、母子保健に関する総合的な調査研究や講演会等を実施します。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。
活動計画	母子保健の問題について、様々な関係団体と連携して、調査研究及び専門職を対象とした講演会（研修会）を実施します						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】	
	講演会の開催	1 回	適切な実施	1 回	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	多様化するニーズに対応するため、母子保健に関する調査・研究を行うことは必要であると考え、活動指標としました。 （最終目標と最終年度）						
					順調	順調	
（最終目標と最終年度）				やや遅れ			
				遅れ			

【Check】評価（分析）		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。  平成26年度は、予定どおり、調査研究5件と専門職を対象とした研修会を1回実施しました。母子保健の問題に対して、その分野の専門的関係機関が調査研究するとともに、研修会を実施することは、様々な視点から母子保健の問題を把握できます。市が行うことで、母子保健の問題に対して具体的に検討できることから、順調と判断しました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  様々な関係団体に関わる中で、調査研究を行うことは、母子保健の現状を把握するために重要です。母子保健をテーマにして、専門的研修会や研究を行うため、これ以上のコスト削減は難しい状況です。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
母子保健の問題について、様々な関係団体が連携し研究することで、解決に向けた取り組みを充実させることができるため、できる限り今後も継続します。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	保健・医療・福祉・地域連携システム推進事業						掲載ページ		
							65		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	保健福祉局
		7,905	千円	8,330	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	いのちをつなぐネットワーク推進課

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか 地域住民、地域団体、保健・医療・福祉関係者、行政機関等で構成される区保健・医療・福祉・地域連携推進協議会（以下、推進協）は、子どもから高齢者までの誰もが住みなれた地域で安心して暮らせる街づくりを進めることを目的とし、地域が連携しお互いに支えあうネットワークづくりに取り組んでいます。その活動に対し補助金を交付することにより、地域連携の推進を目指します。	活動実績 活動結果は以下のとおりです。
活動計画	推進協において、関係者・地域による専門部会を開催するほか、地域ケア研究会、各種ネットワーク会議を開催して、地域ニーズの把握を行います。健康まつり、ウォーキング等のイベントを通じた啓発活動や広報誌、ホームページなどによる広報活動を行い、関連情報の発信に努めます。以上の推進協の活動に対し、補助金の交付による支援を行います。	

活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	→	【活動の状況】
		推進協における子育て支援などの専門部会や研究会の開催 地域の多様なニーズを把握し、地域の課題に対し、きめ細かく対応するために、高齢者支援・子育て支援・健康生きがいがづくり等の各専門分野ごとに、情報共有や課題解決のための会議・研究会を、各区で行っています。 （最終目標と最終年度）	-	地域・関係団体との会議開催	-	大変順調
	推進協議会における地域福祉に関する広報・啓発活動の展開 地域福祉に関する活動を地域に知ってもらい、地域福祉のネットワークづくりを推進するための一環として、健康まつりやウォーキング等の広報・啓発活動を各区で行っています。 （最終目標と最終年度）	-	効果的な広報・啓発活動の展開	-	順調 やや遅れ 遅れ	順調

## 【Check】評価（分析）

分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析 活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	地域福祉のネットワークづくりや地域連携の推進のため、推進協では、高齢者支援、子育て支援、健康づくり、安全安心等の専門部会において、地域の課題やニーズ等の会議・研究会を行い、民生委員等の地域関係者や、ケアマネジャー等の専門職員との意見交換がなされています。また、他専門部会や総会にて報告され、情報共有もなされています。以上のことから、活動は順調としました。 子育て支援の専門部会においては、各区の実情に合わせた講演会の開催や情報誌等の発行を行うだけでなく、これらの準備等を通じて関係者間の交流を深め、地域福祉のネットワークづくりにも寄与しているものと考えます。
	「経済性」「効率性」の分析 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	平成23年度から区の事務局を保健福祉課へ変更したことにより、福祉分野等の専門性のあるニーズに対応できるようになったと考えています。 しかし、区によって活動に差が見られるため、新しいニーズなどに対応できるよう、事例検討等の実態に合わせた取り組みを強化することで、より効率的で高い効果が得られるのではないかと考えます。

## 【Action】 目的実現のために平成26年度以降に実施すること

今後、推進協を「保健・医療・福祉分野のネットワーク組織」として明確に位置づけ、より積極的な活動を行っていくためには、実態に合わせた取り組みが必要となります。  
このために、関係課とも協力して、各区推進協と意見交換等をしながら取り組み内容について検討していきます。